

## 4 よくある質問

Q19

大型MICE施設周辺にホテルや商業施設は  
できますか。

A

沖縄県は、大型MICE施設周辺に、MICE参加者の利便性を高め、地域の賑わいを創出し、経済波及効果を高めるホテルや商業施設などを適切に配置するため、まちづくりの基本方針となる将来像やコンセプト、施設の配置計画、土地利用などを示した「マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン」を策定しました。

まちづくりビジョンでは、県有地である5つのゾーンを、ハイクラスなホテル、ファミリー向けホテル、ビジネスホテルなど多様なホテルや商業施設の立地が可能な土地として位置付けています。

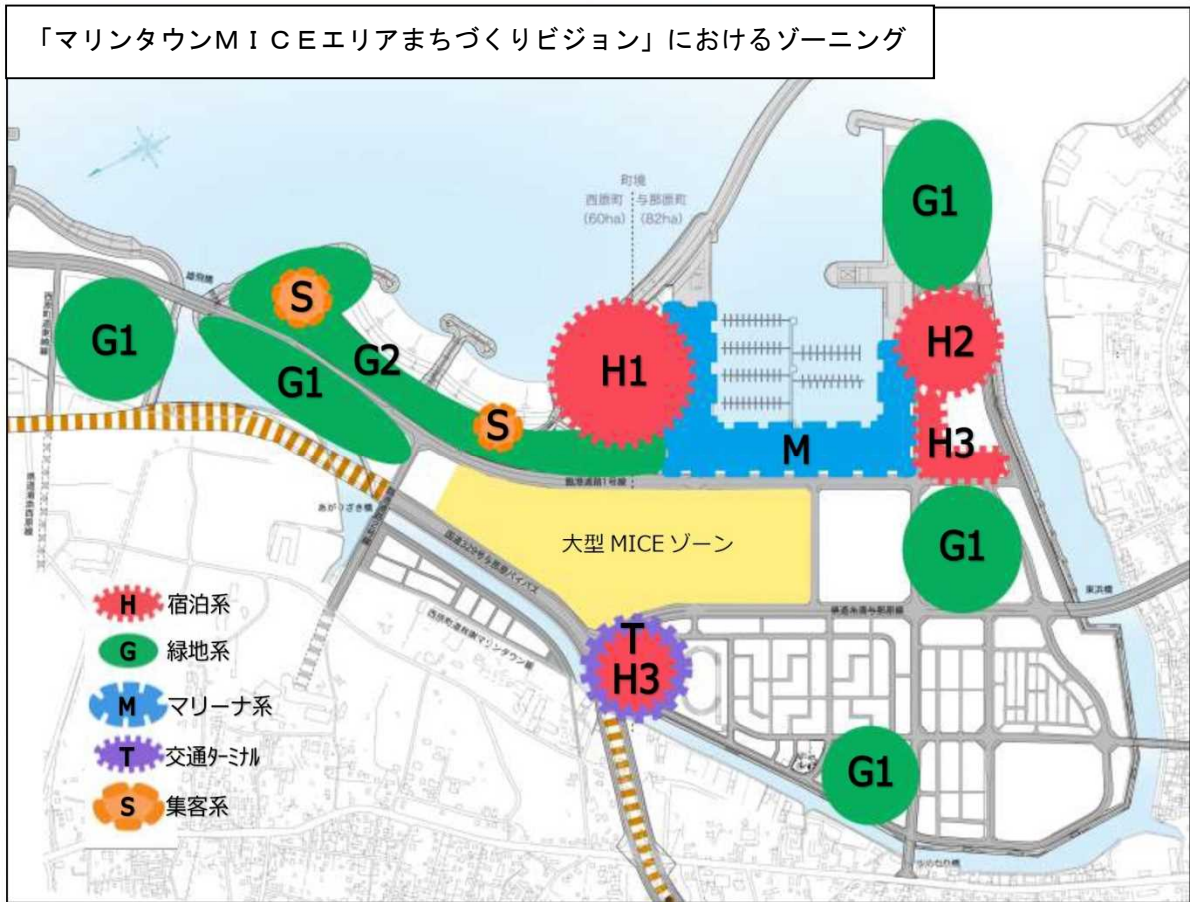
沖縄県は、各ゾーンにおいて、適時、既存の土地利用の見直し等を行い、段階的にホテルや商業施設の誘致をすすめていくこととしており、地元自治体や関係部局と連携しながらまちづくりに必要な行政手続きに取り組んでいます。

その中でも、大型MICE施設の周辺の区画については、多数の企業からの問合せや現地視察が行われており、高い関心が寄せられていることから、ホテルや商業施設の公募を早期に開始できるように準備を進めているところです。

### まちづくりビジョンにおけるゾーンの考え方

- 東海岸地域の国際交流拠点にふさわしい魅力あるエリアの形成を目指し、大型MICE施設を核とした賑わいがマリンタウンMICEエリア内に波及・浸透していくとともに、マリンタウンMICEエリア外の周辺地域へも賑わいが連鎖されるようなゾーンの展開を図ります。
- 国内外から訪れる来訪者を受け入れる東海岸地域の玄関口としての機能が求められるマリンタウンMICEエリア周辺では、地域のグローバル化に対応した業務・商業・観光・宿泊施設・レジャー・交流・住居など、同エリアの国際性を高める多様な都市機能が集積する複合市街地の形成を図ります。
- マリンタウンMICEエリアには、MICE機能・商業・宿泊・居住等をバランスよく配置することで、「交流、賑わいある豊かなまち」の具体化を図ります。

# 4 よくある質問



**大型 MICE ゾーン**

年間を通じた集客・賑わいを創出するゾーンとして、国内外からの来訪者を想定した多様な都市機能の充実を進め、活発な交流を促す環境の形成を図ります。

**G1 みどり交流ゾーン**

憩いや散策、健康増進など既存の利用方法を維持、充実を図ります。

将来的には、新たに増える国内外からの来訪者にも海辺・緑空間の特性を活かした散策、鑑賞、休憩などが体感できる賑わい・交流空間の形成を検討します。

**H1 ラグジュアリーゾーン**

大型 MICE 施設利用する国内外からの来訪者等をターゲットにするハイクラスの滞在環境の整備を図ります。多数の利用者が円滑に移動できるよう大型 MICE 施設との連続性を確保しつつ、敷地内では自然あふれる環境のなか、非日常の特別な時間が過ごせる、再び滞在したいと思わせるような空間の形成を目指します。

**G2・S マリンアクティビティゾーン**

憩いや散策、ビーチ利用者への利便機能など既存の利用方法を維持、充実を図ります。

沖縄県東海岸のエメラルドグリーン海と白い砂浜、海浜植物等の鮮やかなグリーン等を活用した集客施設や、マリッジの魅力を楽しめるビーチハウス等の賑わい・交流空間の形成を検討します。

**H2 ファミリーゾーン**

“沖縄らしさ”が感じられるリゾートスタイルのファミリー向けの滞在環境の整備を図ります。子ども向けの施設などの配置を検討し、家族みんなで滞在を楽しめる空間の形成を目指します。

**M マリーナ活性化ゾーン**

与那原マリーナの機能を損なうことなく、海辺を身近に感じる賑わい環境の整備を図ります。

穏やかな青い海、緑あふれる山を眺めつつ素敵なマリッジライフを過ごせる商業環境の形成を目指します。

**H3 ビジネスゾーン**

MICE や地域産業に関連するビジネス利用者等をターゲットにする滞在環境の整備を図ります。快適に滞在が出来るように、ビジネス環境が充実した空間の形成を目指します。

**T 交通ターミナルゾーン**

那覇空港や県内の主要都市等との交通結節機能を整備するとともに、情報や公共的なサービスを提供する環境整備も図ります。国内外からの来訪者を快適な空間でお出迎えします。

また、高度利用により滞在環境の形成も検討します。

「マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン」より